

※ 葉は固くて反っているものがよく、大きくてもやわらかな葉は作りにくい。

例4 ほかけ舟をつくろう

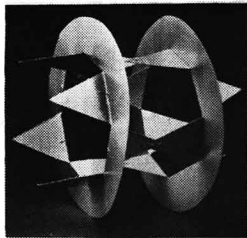
※ 船体には、ろうやクレヨンでぬった厚紙、発泡スチロール、牛乳パックなど水に浮くものを使い、それに帆を工夫してつけて動かす。

※ 帆を大きくしすぎると重心が上になって倒れやすくなる。水に浮かべた時に倒れない工夫が必要である。

※ 発泡スチロールや牛乳パックはものを接着しにくいことが多い。その場合、ねんどを使用したり、ホッチキス、両面テープなどを使用するとよい。

<風をうけてまわるおもちゃをつくる活動例>

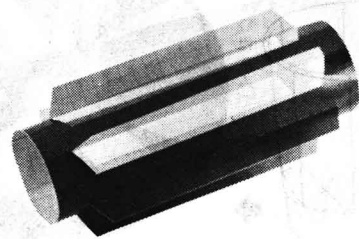
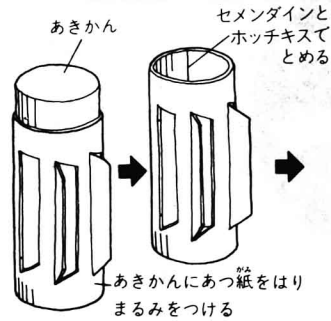
例5 かざわをつくろう。



- (1) コンパスを使って正しい円にする。
- (2) はねは1つおきに表うらへ曲げる。
- (3) 平たい場所で、風にあてて走らせる。
- (4) 2輪車にすると、たおれにくい。  
はねのはしを5mmほどかさね、セメダインをぬり、ホッチキスでとめる。

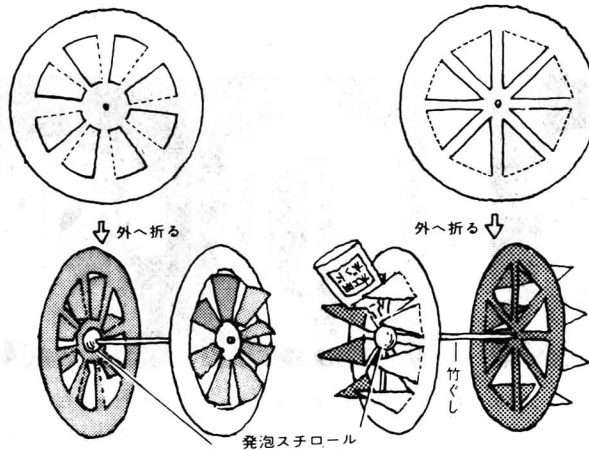
(理科工作のアイデア、保育社)

<つつ型風輪>



(理科工作のアイデア、保育社)

<変形風輪>



動くおもちゃ作り。  
保育社)